



3月15日

### 進路選択の幅を広げて 白糠高校生が大学生と座談会

白糠高校の1、2年生40人が、キャリア支援NPOイルムの大学生3人と座談会を行いました。

はじめに大学生が講師を務め、大学生活の様子や進路選択の考え方などを講話。その後、模擬授業を行いました。後半は3つのグループに分かれて、生徒たちが大学生に「勉強の仕方」「なぜ大学進学を選んだか」などと質問をしました。

同校の工藤花子さん(2年)は「今までは分からなかった大学進学イメージがわかりました。進路選択の参考になりました」と話していました。

写真上/模擬授業では、例題を交えて商品を効率的に売る仕組みを作る「マーケティング」を学びました 写真下/グループごとに分かれて、大学生活からプライベートな話まで、生徒たちがたくさん質問をしていました



「避難場所や避難場所までの時間を確認して」と蔵本さん

3月14日

### 女性の立場で社会参画を 白糠町女性のつどい

町女性連絡協議会(池田昭子会長)主催の「女性のつどい」が社会福祉センターで開かれ、会員53人が参加し、研修を通して防災意識を高めました。

この日は、研修活動として防災士の蔵本博幸さんが「災害に対する自助について」と題し講演。蔵本さんは「誰かを助けたいという気持ちより、まずは自分の命を一番に考えてください」と話していました。

3月12日

### 清和園にタオルと箱入りティッシュ 女性ボランティアクラブ寄贈

白糠町女性ボランティアクラブ(桧森千枝子会長)が特別養護老人ホーム「清和園」の入所者にタオル310枚と箱入りティッシュ80個を寄贈しました。

同クラブは1996年に寄贈をスタート。20年以上にわたって寄贈を続けています。同園の二色郁子事務局長は「箱入りティッシュを入所者全員に渡せるよう用意していただき大変感謝しています」と話していました。



清和園を訪れた会員5人と清和園の二色事務局長(左上)



段ボールパーテーションや段ボールベッドを組み立てる参加者

3月18日

### 「自然の番人宣言」ポスターコンクール表彰式 廣橋温真さん町内初最優秀賞

「自然の番人宣言」ポスターコンクールの表彰式が役場で行われ、受賞した7人が棚野孝夫町長から賞状を受け取りました。最優秀賞に廣橋温真さん(白糠)、優秀賞に西村玲音さん(同)が選ばれました。佳作は大内莓さん(白糠)、松田ひかるさん(同)、金杉ゆずさん(庶路)、櫻井日向さん(同)、鶴岡久玲愛さん(同)が選ばれました。受賞者はいずれも8年生です。



前列左から2人目が最優秀賞を受賞した廣橋さん

3月14日

### ニュージーランドで学んだこと 青少年海外研修事後研修会

2月11日~17日まで「青少年海外研修事業」としてニュージーランドを訪れた生徒8人による事後研修会が役場で行われました。研修会では、生徒一人一人が海外で学んだことや日本の文化との違いなどを発表。

工藤光稀さん(茶路中2年)は「何事も表面だけで判断するのではなく、実際に自分で見聞きして判断することが大切だと感じました」と話していました。



2つのグループに分かれて発表や意見を交わしました



エンペラーサーモンにかぶりつく児童

3月14日

### エンペラーサーモン登場 ふるさと納税給食

ふるさと納税のお礼の品として人気の「エンペラーサーモン」が学校給食に登場しました。

児童生徒にふるさと納税のことや地元食材の魅力を知らせようと「ふるさと納税給食」が行われています。今回で8回目となるこの日は、白糠学園の2年生(写真)が、エンペラーサーモンを食べて「すごくおいしい。もっと食べたい」と笑顔でした。

